D-BASF

We create chemistry



*普通物:毒劇物に該当しないものを指していう通称

■特長

- ●天然物由来*の吸汁阻害剤 ※有機JAS規格には適合しません。
 - ・コウジカビ由来のユニークな化学構造
 - ・既存の有機リン、合ピレ、ネオニコチノイド等への抵抗性系統にも有効
 - ・IRACグループ9のサブグループDに分類

●環境に優しい

- ・ハチ類への高い安全性
- ・有用昆虫への影響が少ない
- ・魚類、鳥類への毒性が低い

●ウイルス媒介抑制効果

- ・速効的に異常行動を誘発
- ・異常行動による吸汁阻害効果
- ・優れたウイルス媒介抑制効果

●優れた残効性

- ·DC製剤による葉組織内への浸達性
- ・有効成分の物化性による優れた耐雨性
- ·長期残効性

■適用害虫と使用方法

(2025年11月26日現在)

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アフィドピロペン を含む農薬の 総使用回数
小麦	アブラムシ類	2000~ 4000倍	60~ 150ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	2回以内

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	アフィドピロペン を含む農薬の 総使用回数
ばれいしょ	アブラムシ類	2000~ 4000倍	100~ 300ℓ /10a	収穫前日まで	2回以内	散布	
		500~ 1000倍	25 l /10a				
てんさい		2000~ 4000倍	100~ 300ℓ /10a				
		32~ 64倍	1.6~ 3.2 l /10a			無人航空機による散布	
キャベツ		2000~ 4000倍	100~ 300ℓ /10a			散布	
はくさい							
はなやさい類 (ブロッコリーを除く)		4000倍					
ブロッコリー		2000~ 4000倍					
レタス							
かぼちゃ							
非結球レタス				収穫7日前まで			

△ 効果・薬害等の注意事項

- ●使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- ●散布量は対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- ●ばれいしょに対して希釈倍数500~1000倍で散布する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
- ●本剤を無人航空機で散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - ①散布機種の散布基準に従って実施してください。
 - ②散布機種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件 に十分留意してください。

- ●適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。
- ●本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△ 安全使用上の注意

- ●ミストの吸入をさけ、屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ●吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の手当を受けさせてください。
- ●鍵のかかる場所に保管してください。
- ●換気のよいところで保管してください。容器を密閉しておいてください。
- **保 管**…火気をさけ、食品と区別して、直射日光のあたらない低温な場所に密栓して保管してください。

さらに詳しい製品情報はこちらから

※QRコードを読み込む、 またはクリックしてください。

